



自学共生



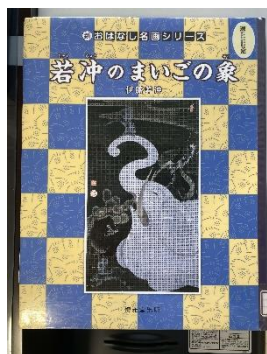
令和3年度
校長室だより No. 2
6月15日(火)
青木 幸代

～ つよく やさしく ～

何度も見る・じっと見る

毎日通勤で利用している山手線の車内広告が、全てデジタル広告になっていることに気付いたのは、9日(水)の朝のことでした。このところ楽しみに見ている週替わり(?)の動画広告が終わりふと左右を見ると、どちら側にも幾台ものモニタが続いています。斜めからは画面の内容は極めて見づらく、私は早々に窓の外景色へと目を移しました。「ついに紙の広告がなくなってしまったか・・・。」と少し心ざわざわしながら。

池上線に乗り込むとさっそく広告を確認。一部はデジタル広告であるものの、新しい池上駅のことなど紙面情報があることに、ほっとした朝となりました。



ところで、この日の朝読書の時間は、“あじさい読書月間”の取り組みの一環で行う、「教員による全校読み聞かせ」でありました。校内のほぼ全ての教員が、お薦めの本の読み聞かせをします。ちなみに私は高学年の子どもたち担当で、『若冲のまいごの象』を読みました。

“読み聞かせ”の機会に乗じて、大好きな絵を子どもたちに見せたいと考えました。あくまで福々と、優しさにあふれた象やクジラの姿。細密な描写に画家の強さを感じさせるニワトリや虫、植物たち。

じっと見入って静かに聞いてくれた十数人の高学年の子どもたちがどう感じたかはわかりませんが、だれか一人でも図書室で再びこの本を手にとって、もう一度見る・じっと見る時間をもってくれたらなと願っています。(残りの2冊は紹介のみ、しました。)

素早く切り替わる画面に引き付けられ、さほど興味がないもの(こと)でも思わず見入ってしまう動画広告。わずかな時間でも、多くの新たな情報を得ることができます。

一方で一定期間、いつも「そこ」に掲示されている紙の広告は、何度も見る。じっと見る。そのうち、初めてみた時には気付かなかった発見をすることがあります。そうして毎日見ているうちにやっぱり読んでみたくなって、宣伝されていた本を買ったり、映画を観に行ってみたり…。

デジタル動画に接する時間が急速に増えている今だからこそ、「何度も見る・じっと見る」ことを心がけたいと思った一日でありました。

ギャラリーにある、ブックママさん心づくしの「あじさい読書月間」のお知らせです。

“あじさい”の文字は、画用紙を切り抜いて作った、わずか3cm足らずのあじさいの花びらを繋げて作られています。その数、70枚近く! そのことに気付いたのは、何度となく前を通りながら眺めていた、つい最近でありました。

